

高梁市歴史美術館

常設展「たかはしの歴史と美術／山田方谷の生涯」

期間 令和5年2月6日(月)まで

歴史美術館では現在、常設展を開催しています。高梁市の幅広い歴史や文化を紹介する「たかはしの歴史と美術」、実物資料からその業績を振り返る「山田方谷の生涯」の2本立てとなっており、幅広く奥深い高梁市の歴史を知っていただける内容となっています。



「戊午」は安政5(1858)年、「試筆」とは書初めのことです。これは山田方谷が安政5年、54歳の正月に書初めとして書いた漢詩です。当時の正月は現在の1月後半から2月前半頃に当たります。

漢学者として藩校「有終館」などで教育に当たっていた方谷は、45歳のとき備中松山藩主板倉勝静に抜擢され、藩の財政改革に取り組むことになりました。数々の改革を行い藩の借財を返済、余剰金を残して退任したのは53歳の時でした。

この詩には、多忙を極めたであろう改革の日々から解放され、新春ののどかな暖かさの中で長い役人生活を振り返り、故郷を恋しく思う気持ちが詠まれています。方谷は翌年に西方村長瀬(現中井町)に移住し、自然とともに暮らす生活を始めることとなります。方谷の心の動きが読み取れる貴重な資料です。

戊午元旦試筆 方谷球(山田方谷)

宮原信『山田方谷の詩その全訳』より

陽和今歳覺殊新 嫗煦何唯海内人
萬里遠夷留使節 同承皇國太平春

春ののどかさが今年は特に新鮮に感じられる。この陽気に温め育てられるのはただ自国の人たちだけではない。万里の異邦も使節を留めて同じく皇国の平和な春を享受している。

誰起晨鷄報歳新 似警官路未帰人
故山一別猶如昨 屈指今朝已卅春

暁の鶏に新春の訪れを告げさせるのは誰だろう。あの声を聞くと故郷を捨てて役人生活を未だに続けている自分は、帰って来いと急ぎ立てられるような思いがする。郷里を後にして役人になったのはつい昨日のこのように思えるが、指折り数えてみればもう三十の春を経ている。

午日晴暄與節新 街衢交錯拜年人
賀正朝罷歸家早 獨對瓶梅閑弄春

お昼の暖かさは正月を迎えてことのほか新鮮に感じられる。ちまたには新年拝賀の人たちがしきりと行き交っている。賀正のあいさつをすませて役所を退出し早く家に戻った。私はただ一人で瓶の梅の花をながめながらのどかに新春を楽しんだ。

各施設の展示一覧 ※開館日や開館時間が変わる可能性があります。年末年始の休館日は9ページをご覧ください。

施設	内容	開館時間	入館料
高梁市歴史美術館 ☎ 21-0180 火曜日休館	常設展「たかはしの歴史と美術／山田方谷の生涯」(～令和5年2月6日(月))	午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)	一般…400円 小・中学生…200円
高梁市成羽美術館 ☎ 42-4455 月曜日休館 ※12月19日(月)～令和5年1月11日(水)は全館休館。1月12日(木)以降の開館状況についてはウェブサイトをご覧ください。	 秋の特別展「松本ひで吉展」(～12月19日(月))／ミニ企画「漫画家からの年賀状 卯年編」(12月24日(土)～)	午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)	12月18日(日)までは 一般・65歳以上…1000円 学生(小・中・高校生、大学生)…500円
吉備川上ふれあい漫画美術館 ☎ 48-3664 金曜日休館 ※12月20日(火)～22日(木)は展示替えのため休館	秋の特別展「松本ひで吉展」(～12月19日(月))／ミニ企画「漫画家からの年賀状 卯年編」(12月24日(土)～)	午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)	一般…500円 高校・大学生…400円 小・中学生…300円

常設のみの施設：山田方谷記念館 ☎ 22-1479 / 景年記念館 ☎ 21-1516 (社会教育課)

入館無料の対象：市内在住の小・中学生(学校休業日に利用する場合) / 障害者手帳を持つ人と介助者1人 / 市内在住の65歳以上(成羽美術館は対象外)